

若草中学校 自己評価書・学校関係者評価書（後期）

平成27年 1月19日
南アルプス市立若草中学校校長 小田切雅裕
学校関係者評価委員会委員長 志村 郁造

- 1 本年度の教育目標
① 学校教育目標 よく学び、心豊かで、たくましい生徒の育成
② 具体的目標 ○よく学び、工夫する生徒 (知育)
○心豊かで、助け合う生徒 (徳育)
○健康で、たくましい生徒 (体育)
○意欲を持ち、やりぬく生徒 (意欲)
③ 本年度の重点 ○自律と自立(自らを律して自ら立つ) 基礎基本の定着、早寝・早起き・朝ご飯
○想像力と創造力(イマジネーション・クリエイションを働かせる)
・思考力、判断力、表現力の養成 ・読書活動 ・心を形に(小笠原流礼法) ・おもてなしの心
○和、輪、ワ(友情・信頼、仲間づくり・連帯感、驚きと感動の3つの"わ")
・学びの輪 ・合唱の輪
○「文武両道」・授業づくり ○「やってみるじゃん」《LET'S CHALLENGE》

評価点：「思う…3点 やや思う…2点 あまり思わない…1点 思わない…0点」の平均点
評価：A…評価点2.4以上 B…評価点2以上2.4未満 C…評価点1.5以上2未満 D…評価点1.5未満

Table with 7 columns: 項目, 観点, 具体的な評価内容, 今年度評価点, 評価, 昨年度評価点, 自己評価達成状況・改善策, 学校関係者評価意見・支援. Rows are categorized by I (Education Goals), II (Duty), III (Learning Guidance), IV (Student Guidance/Moral), V (Special Activities), and VI (Community).

○学校関係者評価者

志村郁造(区長会長), 今福正信(加代-), 金丸浩恵(主任児童委員), 塚原久美子(主任児童委員), 内藤恵美(PTA副会長), 小田切雅裕(学校長), 村松博己(教頭)

口話し合いの内容 ○今回の学校評価(関係者評価)に合わせて学校保健の概要も養護教諭から説明が行われた。本校生徒の体位は女子の肥満傾向と痩身傾向の二極化にあり、肥満傾向は1年女子と3年男女で多くなっている。むし歯の未処置の割合が33%と県平均の22%を大きく上回っている点が報告された。また、集団不登校とみられる長期欠席、保健室・別室登校(外部機関含む)生徒が昨年度に比べ減少はしているが依然多くいる。課題についての現状と方策について委員の方から貴重な意見をいただいた。『睡眠障害』について意見交換があり、部活動の練習日程や時間、活動停止日の設定等、子ども達の状態を見ながら適切に行うこと、携帯・スマホ等の情報通信の適切な使用についての更なる指導の必要性が確認された。例年話題になる通学時の自転車の登下校も気になる一つとして意見が出され、特に、若草南小学校西側の県道上で、通学が小学生と交差する点を心配される意見が出された。生徒への指導と共に若草南小学校との共通認識等、連携を取り合う必要性があることが確認された。